



『覚・求・徹』

～ 校長室 だより ～

令和 8 年 7 月 1 日 (水)

第 4 号

葛城市立白鳳中学校

校長 中川 順一

第 22 回葛城市中学校総合体育大会開催！



6月6日から第22回葛城市中学校総合体育大会（市総体）が各種目で開催されています。今年から中学校の部活動が休日は地域展開となりました。市総体は例年通り開催3年生にとっては、最後の公式試合になる競技もあります。これまで重ねてきた練習の成果を思う存分発揮できる大会です。3年生の懸命な姿に一生懸命応援する1、2年生の姿もありました。そして、最後まであきらめず勝利を目指してプレーする姿も応援するみんなの心を動かしたのではないのでしょうか。

次は県総体へ向けてさらにチーム力を引き上げ、個人の記録も伸ばし、頑張ってほしいと思います。



6/6
女子ソフトテニス



6/6
男子バスケットボール



6/6
女子バスケットボール



6/6
剣道



6/7
バドミントン



6/13
陸上



6/13
卓球



6/14
野球

※水泳は7 / 4（土）開催予定



第152回「なかよしの掃除に学ぶ会」報告

6月28日日曜日、本校の学校地域コーディネーター、羽根康英さんの呼びかけにより第152回「なかよしの掃除に学ぶ会」が開催されました。今回は全校生徒にも私のほうから全校集会で呼びかけたところ7名の有志の生徒が参加予定でしたが警報発令により期末テストが延期となり、残念ながら一緒に活動はできませんでした。しかし、PTAから保護者のみなさまも参加いただき、私たち教職員も一緒に参加させていただき、総勢20名で校舎内1Fトイレを徹底的に掃除しました。羽根さんから丁寧に掃除の仕方を教わりながらそれぞれの分担場所を徹底的に掃除しました。

羽根さん主催の学ぶ会の皆さま、そして、保護者、教職員が一体となってトイレを掃除することで少しでも学校を良くしていくことができればと願いながらの活動でした。協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

全校生徒の皆さん、こんなにきれいにしていただいたトイレを大切に使っていきたいですね。そして、もっときれいに自分たちでしていきたいと思います。次回開催の折は、生徒の皆さんとぜひ一緒に活動しましょう。



6.23 沖縄「慰霊の日」戦没者追悼式で朗読された中学生の詩を紹介します。

平和の詩「生きたいと願った証」

豊見城市立豊崎中学校2年

亀谷琉奈

あの日の沖縄には 青い海も
優しい風もなかった 空は黒く 地面は揺れ
人々の叫び声が絶えなかった
爆撃の音が心まで壊していく

まだ若かった曾祖母は小さな体で必死に走った
血だらけの道を倒れた人たちの横を
もう動かない人を見ながら
涙を流す暇もなくただ生きるために
そして 愛する夫の命を案じながら
「お願い 生きていて」その想いだけを胸に
足がもつれても 呼吸が苦しくても
転びそうになっても 前へ前へと走った
しかし その願いはもう二度と届かなかった

その時のことを話す曾祖母の声は
今でもとても優しい
でも 私は知っている その優しい声の奥に
今も消えない悲しみがあることを
細い足 しわしわの手 小さな背中
長い年月を生きてきたその姿を見るたび
私は戦争の重さを感じる
そして 曾祖母の右足には今も傷が残っている
それは戦時中 自分で引っ掻いた傷
灰色の空の下 爆撃の音が鳴り響く
恐怖と不安でいっぱいになり
右手に握った石で
自分の右足を何度も何度も引っ掻く
気づけば手も足も血だらけだった

私が真実を知った時 胸が締めつけられた
どれほど怖かっただろう
どれほど苦しかっただろう
生きたい 死にたくない
その想いだけで曾祖母は必死に生き延びた

戦争は人を傷つける
体だけじゃない 心まで壊してしまう
家族と笑う時間 友達と過ごす日々
「また明日ね」と言える幸せ
そんな当たり前を全て奪ってしまう

でもそれは当たり前なんかじゃない
血と涙の中を生き抜いた人たちが
命を繋いでくれたから今の私たちがいる
もし曾祖母があの日 走っていなかったら
もしあの日 命を落としていたら
私はここにいなかった

曾祖母の右足の傷はただの傷じゃない
「生きたい」と強く願った証
「戦争は二度としてはいけない」という叫び
私はその想いをこれから先も伝えていく
もう誰にも血だらけの道を走ってほしくないから
もう誰にも愛する人の命が奪われることに
怯えてほしくないから
もう二度と沖縄の空を戦争で
染めてはいけないから



平和は当たり前じゃない
たくさんの人の涙と苦しみと
「生きたい」という願いの上にある
だから私は忘れない
沖縄戦で苦しんだ人たちを
愛する人を守ろうとした想いを
泣きながら生き抜いた人たちを
そして 曾祖母の右足の傷を
「生きたい」と願った証の傷を
平和な未来へと繋いでいくために

保護者の皆さまへ

いよいよ7月となり、1学期も終わりが近づいてまいりました。さまざまな行事を終え、学校でしかできない経験をなかまと共にすることで、子どもたちも成長をしているところです。7月13日(月)午後、14日(火)午後、15日(水)午後、16日(木)全日と三者懇談を実施します。1学期の締めくくりとして学校生活全般の子どもたちの学びの成果を学級担任からお伝えさせていただきます。もうすぐ始まる夏休みを有意義なものにするためにも今学期の総括をしていただければと思います。

